



消防局

【令和8年度 予算要求の方針】

一般会計要求総額 3,912百万円
対前年度 +45.6%

※要求総額の増加は、主に指令システムの更新によるもの。
585百万円（他に債務負担行為5,328百万円）

消防局では、「市民の生命、身体及び財産を災害から守る」という使命のもと、火災や大規模災害時の被害軽減を図るために、消防車両の更新や持続可能な組織づくりに視点を置いた人材育成等、消防体制の充実強化に取り組みます。

また、市民生活に大きな影響を与えた木造の市場・商店街等の大規模火災を受け、火災予防対策の強化に取り組むとともに、映像や体験型訓練を活用した火災予防啓発、消防団活動や市民防災活動への支援などを通じて、地域全体で災害対応力を高める取り組みを推進します。

さらに、高齢化等による救急需要の増加に対応するため、デジタル技術を活用した救急体制の充実強化に取り組み、災害に強い「安らぐまち」の実現を目指します。

【模様替えの考え方】

令和7年の救急件数は、過去最多を記録した昨年に迫るペースで推移しており、救急体制の強化が必要不可欠となっています。

これらを補完するため、消防体制を維持しつつ可能な見直しを行いました。

【令和8年度 予算要求の基本的な考え方】

(新)：新規事業 (拡)：拡充事業

● 「安らぐまち」の実現

要求額 2,994百万円（対前年度+64.1%）

あらゆる災害に対応するための消防体制の整備

① 消防体制の充実強化

(新) 常備消防安全対策整備

② 人材育成・能力向上

③ 消防施設の整備

④ 消防車両等の整備



火災予防対策の強化

⑧ 火災予防対策の強化

(新) シニア層を対象とした防災啓発

⑨ 防火査察の強化



救急体制の強化

⑤ 救急体制の充実強化

(拡) 救急需要増大に伴う救急車の増台

⑥ 救急活動の質の向上

⑦ 市民による応急手当の普及啓発活動の推進



地域における災害対応力の向上

⑩ 消防団の充実強化

(新) 消防団クールビズ事業

⑪ いきいき安心訪問の推進

⑫ 市民防災活動への支援



※ 公開時点での予算要求の内容であり、令和8年度に実施することが確定しているものではありません。

重点的に取り組みたい主なもの

(単位：千円)

「稼げるまち」の実現				
該当なし				
「彩りあるまち」の実現				
該当なし				
「安らぐまち」の実現				
1	新	【事業名】シニア層を対象とした防災啓発	【事業費】 14,919千円	
		【事業概要】 シニア層にも分かりやすい動画コンテンツ等を作成し、市内全域をカバーする消防隊の担当区制度を活かして、災害待機している状況でも、市民コミュニティの場にて、機動的に防火・防災活動を実施する。 併せて、機動的な活動を実施するための機材を整備する。		
2	拡	【事業名】救急需要増大に伴う救急車の増台	【事業費】 101,376千円	
		【事業概要】 増大する救急需要への対策として運用する救急隊を増やし、市民のニーズに応えるため救急車を2台増台する。		
3	新	【事業名】常備消防安全対策整備	【事業費】 4,136千円	
		【事業概要】 消防隊員の熱中症発症リスクを最小限に抑え、過酷な状況下でも活動能力を維持・向上させるため、熱中症対策用の資器材等を整備する。		
4	新	【事業名】消防団クールビズ事業	【事業費】 3,850千円	
		【事業概要】 消防団員の安全確保及び活動の効率化のために、個人及び分団単位で利用できる効果的な熱中症対策用資機材を整備する。		
その他の取り組み				
該当なし				